

～次世代育成支援対策推進法に基づく広島県教育委員会特定事業主行動計画～

「職員の仕事と子育て両立支援プログラム」実施状況報告書

平成 年度

所属名
職・氏名**(1) 制度の十分な周知に向けて**

職員に対して、プログラムやハンドブックにより「仕事と子育ての両立支援」についての啓発を実施しましたか。

- 実施した
- 実施しなかった 理由：（ ）

(2) 母体と胎児を守るために

妊娠した女性や産後1年を経過しない職員が職場にいた場合、母性保護のために、健康・安全に配慮した措置を講じましたか。

- 講じた 講じた内容：（ ）
- 講じなかった 理由：（ ）
- 該当職員がいなかった。

(3) 育児休業等の制度を利用しやすい環境の整備等

育児休業中の職員に対し、業務の状況や職場の様子などについての情報を提供しましたか。

- 行った 提供した内容：（ ）
- 行わなかった 理由：（ ）
- 該当職員がいなかった

育児休業を終了し、職場に復帰した職員に対し、サポートを行いましたか。

- 行った サポートの内容：（ ）
- 行わなかった 理由：（ ）
- 該当職員がいなかった

【県立学校のみ回答】

育児休業から復帰予定の職員に対するサポートの一つとして、「育児休業から安心して復帰するための研修」についての情報提供を行いましたか。

- 行った
- 行わなかった 理由：〔 〕
- 該当職員がいなかった

(4) 子供の出生時における父親の休暇の取得を促進するために

父親となる職員（今年度中に配偶者が出産した職員）からの「子育て職員カード」の提出状況はどうでしたか。

- 提出した職員数 _____ 名 → (4) の各問にお答えください。
- 該当職員がいなかった → (5) に進んでください。

父親となる職員に、配偶者出産休暇や男性の育児参加休暇を取得するよう働きかけましたか。

- 働きかけた
- 働きかけなかった 理由：〔 〕

配偶者出産休暇を必要とするときは、100%取得することができますか。

- 取得できている
- 取得できていない 理由：〔 〕

男性の育児参加休暇を必要とするときは、100%取得することができますか。

- 取得できている
- 取得できていない 理由：〔 〕

(5) 家族の看護等に係る休暇の取得を促進するために

家族の看護等に係る休暇について、子供の病気等の際や学校行事がある際に必要とするときは、100%取得することができますか。

- 取得できている
- 取得できていない 理由：〔 〕
- 該当職員がいなかった

仕事と生活の両立

(1) 時間外勤務の縮減のために

職場において、早く退庁・退校するための働きかけを行いましたか。

- 働きかけた 取組内容：（
 働きかけなかった 理由：（

(2) 年次有給休暇の取得を促進するために

ゴールデンウィーク期間や長期休業期間等において、職員に対して年次有給休暇の計画的な取得を働きかけましたか。

- 働きかけた
 働きかけなかった 理由：（

(3) 異動に係る人事上の配慮について

人事異動個人調書についての面接等の際に、職員の子育ての状況や人事上の配慮に関する希望を確認しましたか。

- 確認した
 確認しなかった 理由：（

(4) このプログラムの実施に関する意見があれば自由に記入してください。 また、仕事と生活の両立のために取り組んでいることなどの事例があれば記入してください。

(注) 1 提出期限 3月15日

2 提出先 教育委員会事務局及び県立学校以外の教育機関 → 管理部総務課
県立学校 → 管理部教職員課